豊能町立とよの西学園　前期課程　2026.11 第15号

としょかんつうしん

保護者のみなさま



お礼が遅くなってすみません・・・

お忙しい中、「うちどく」のご協力ありがとうございました。

一冊の本を通して互いの理解を深め、家族の絆を深める時間の大切さに、改めて気付きました。ほんの一部を紹介します。

(本の題名)みっつのねがいごと　(家族)ざんねんなねがいごとのつかい方をしちゃったね！でもおもしろいお話だった。じぶんたちなら、どんなみっつのねがいごとをするかな？

・おとうとが犬にいじわるしない　・ステーキがほしい　・おかねがほしいとおもったら一万円がでてくる　(家族)いいなー！！そんなねがいごとがかなったらいいのにね！！

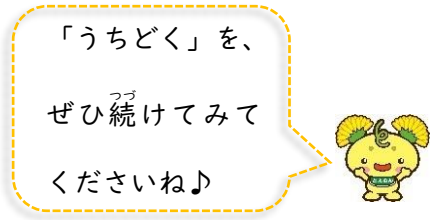
(本の題名)ねこを描いてみませんか

(家族)可愛いネコちゃんの描き方の本です。ネコとお絵描きが大好きな娘らしい本でした。すぐに自由帳にネコを描いていましたが、本の通りにかわいく描けていました。読書も絵も続けていくことが大事です。コツコツと自分のペースで続けて、好きなお話や好きなイラストのタッチを見つけてね。



(本の題名)パイがいっぱい

ダジャレのような言葉遊びがたくさんあってすごくおもしろかったです。動物のしりとりで、つぎにどんなことばが出るか、父といっしょにかんがえました。





(本の題名)ギリギリオニギリーズ　ごはんのしゅるいがいっぱいあっておもしろかった。てんむす、てまりずし、はしらなかった。ぼくはさくらもちがすきで、ぱぱはてんむす、兄弟はさんかくちまき、ままはおにぎらずがすきだった。



(本の題名)ねぎぼうずのあさたろう　ねぎぼうずのあさたろうがひとをたすけてかっこよかった。こまったひとがいたらたすけてあげられるようなひとになれたらいいね、とおとうさんとおかあさんとはなしました。

(本の題名)ぜったいにおしちゃだめ　どんなボタンがあったらいいかな。　ボタンをおしたらいっきにいえのざっそうがぬけるボタン、ボタンをおしたらどっかにいけるボタンがあったらいいなと話しあいました。

(本の題名)さつまのおいも　みんなさつまいもを食べてプープーしているところがおもしろかった。(家族)さいごくさくなっちゃったけどおなかのちょうしがよくなったから、人の負けではないかもしれないね。



(本の題名)このあとどうしちゃおう　お母さんは、「自分が死んじゃって悲しくなったらこの本を読んでね」と言っていました。ぼくは、死ぬのがこわいと思います。なぜなら大事な人と会えなくなるからです。でも、そんなにくじけてたらだめだから、生きてる間にどんなことをしたいか語りました。(野球選手・カナダ旅行・歌手・大きなステーキ)



(本の題名)戦国人物伝　真田昌幸　戦でどちらが勝っても真田家が残るように親子で分かれて戦う場面で頭が良いなぁと思いました。(家族)家康を恐れさせた昌幸。強国に囲まれながらもズル賢く、真田家を守ったのは立派だと思いました。

(本の題名)二平方メートルの世界で　ぼくの知らない所で入院している子が山ほどいるんだなぁと思った。２さいの時、ぼくも２週間入院したことがあるとお母さんが教えてくれた。その時のことは全ぜんおぼえていないけど、もし一人だったらさみしかったと思う。